

2022年11月4日
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会

国内の11事業者・団体が集結し
地域に眠る名品、それを支えるストーリーを今年も発掘します！
「2022年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」

<https://furusatomeihin.jp/>

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、日本各地の素晴らしい名品やその背景にあるストーリー、地域を元気にする様々な取り組みやチャレンジを発掘し、地域の内外に発信することを目的とした表彰制度です。2015年度から始まり、今年度で8年目を迎える本事業は、地方創生に向けて志を同じくする民間企業の主体的な集まりである「ふるさと名品・オブ・ザ・イヤー実行委員会(実行委員長:古田秘馬、以下「実行委員会」)が運営しています。

今年度の「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」も、昨年度と同様に「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2部門それぞれにおいて地方創生賞を選定するとともに、各部門の中から最も優れたものを地方創生担当大臣賞として選ぶこととしています。11月4日(金)から本表彰制度へのエントリーの受付を開始致しますので、公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)をご確認の上、積極的にご応募ください。

モノ(名品)部門は食品や加工品、工芸品等の商品化がされているもので、コト部門は観光商材、サービス、関係人口施策のほか、新たな生活様式に対応した地域を活性化する新たな取り組みや活動を募集していきます。いずれの部門も、地域の特色を活かし商品化されたものや、活動をエントリー対象とします。

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取り組みが、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰していきます。

実行委員会は、地域の将来を支える名品の発掘や市場開拓、それらを実現する人材や取り組みを支援することを目的として、本表彰制度に加え、地域商社協議会を開催するなど、参加する民間企業間での連携を図りながら地方創生に向けたサポートを今後とも展開していきます。



<「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会>

実行委員長： 古田 秘馬

幹事社(3社)： JCOM株式会社、株式会社JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ

会員企業・団体(9社)：

株式会社インターローカルパートナーズ、紀尾井町戦略研究所株式会社、株式会社さとふる、日本郵政株式会社、株式会社羽田未来総合研究所、エコツエリア協会、楽天グループ株式会社、株式会社AKIND、株式会社10(10INC.)

後援： 内閣府(申請中)、経済産業省

<ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2022募集要項>

募集期間： 2022年11月4日(金)～2023年1月11日(水)

応募方法： 公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)より、ご応募ください

お問い合わせ先： furusatomeihin@jtb.com

【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2022大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取り組みが、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞(地方創生担当大臣賞)とします。

応募条件： 本年12月頃までに、地域の特徴を生かし商品化・販売された、食品、加工品、工芸品等の商品や、観光商材、サービス、関係人口施策等の取組や活動を対象とします。

選考フロー： 一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容： 「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生大賞2点と地方創生賞8点を授賞

【受賞者の権利】

- ① 受賞名品は、販促機会に「受賞ロゴ」を使用できます。
- ② 各事業者の特徴を生かした販促機会が(ECサイト無料掲載など)提供されます。(予定)

<2022年度ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会の取り組み>

- ① 表彰制度
「地方創生大賞」「地方創生賞」を設け、各事業者・自治体の商品や取り組みを支援いたします。
- ② 地域商社協議会
関係省庁、ふるさと名品オブ・ザ・イヤーが共同で官民連携の定期セミナーを開催し、地域商社事業の推進を行います。
<https://furusatomeihin.jp/kyogikai.php>

<2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー>受賞品

【地方創生大賞・モノ（名品）部門】
ユキノチカラ おうちで雪あかりセット
ユキノチカラプロジェクト協議会（岩手県西和賀町）



東北屈指の豪雪地である西和賀町の雪を、地域ブランド「ユキノチカラ」のスイーツと一緒に楽しめるギフトセット。LED キャンドルとバケツを同梱し、ご家庭で西和賀の冬の風物詩「雪あかり」が簡単に作れる工夫を施しています。冷たい雪に触れることで直感的に雪国の雰囲気を感じていただける「体験を贈る」ギフトです。

【地方創生大賞・コト部門】
イワシビル
株式会社下園薩男商店（鹿児島県阿久根市）



企業理念「今あるコトに一手間加え、それを誇り楽しみ人生を豊かにする」のもと、この地域の産品・特徴に一手間加えた商品やサービスを展開。観光地でも無いシャッター街に、都会や海外からイワシビルめがけて人が集まり、働きたいという若い人材も後を絶たない。

地方創生賞入賞名品

【モノ（名品）部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
株式会社Smolt	つきみいくら	宮崎県	宮崎市
農事組合法人ながいき集落営農組合	ながいきそば	千葉県	長生村
株式会社陽と人	明日 わたしは柿の木にのぼる	福島県	国見町
株式会社プラスワイズ	燕三条鉄アイス	新潟県	三条市

【コト部門】

企業・団体名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
岐阜県飛騨市	人口減少先進地の挑戦！地域を超えて支え合う、「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」	岐阜県	飛騨市
株式会社デキタ	若狭熊川宿の地域ブランド「八百熊川」	福井県	若狭町
(株) SUGOMoRI ・ SUGOMoRIリゾート生野高原	SUGOMoRIリゾート生野 高原	兵庫県	朝来市
一般社団法人 前橋まちなか エージェンシー	前橋の「まちなか」からニッポンの地方を面白くする会社・MMA	群馬県	前橋市

<報道関係の方のお問い合わせ先>
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局
大谷：070-1054-7835
佐竹：080-7631-3004
EMAIL: furusatomeihin@jtb.com
時間：月～金9:30-17:30（土日祝 休業）